

幸福を、平和を、豊かな心を、カンボジアの友と分かち合おう

Angkor Wat

アンコールワット

発行日:2025年(令和7年)4月1日

会報 第139号

特定非営利活動法人(NPO法人)

21世紀のカンボジアを支援する会

《AAC21》ASSOCIATION OF AID FOR CAMBODIA IN 21 CENTURY

【本部事務局】〒369-1246 埼玉県深谷市小前田1552-1
TEL 048-580-7048 FAX 048-580-7049
E-mail info@aac21.net

【カンボジア事務所】Royal park condo, Street 608, Toul kok, Phnompenh, Cambodia (855) 17-599-707

【ホームページ】 [カンボジア支援](#)

【公式ブログ】 [メコンの風に吹かれて](#)



一粒の麦が地に落ちてたくさんの実が実りました

1月20日〜2月12日、9カ月ぶりにカンボジアを訪問しました。

この時期、日本は寒波襲来で極寒の日々でしたが、亜熱帯のカンボジアはまさに天国のような暖かさ、最高気温も30度位で暑くなく、とても過ごしやすい毎日でした。

カンボジアに滞在中、今回も多くの会員さんが各自目的を持って訪問され、有意義な日々を過ごすことができました。

中でも、今年90歳になられる角田由美子さん(東京都在住の会員)が約20年ぶりにカンボジアを訪れ、その当時校舎を寄贈した「サンボウミヤス小学校」(プレイベン州)と「平和小学校」(コンボン

プ州)の2つの小学校を訪問しました。

2004年に完成した「サンボウミヤス小学校」はその当時、洪水が発生するなど交通の便が悪く、プノンペンからその小学校へ行くためバス、ボート、バイク、牛車などに乗り換え、6時間もかかりました。

しかし今は、日本が無償支援した「つばき橋」(メコン川にかかる全長2キロの大橋)が完成しましたので、3時間で行くことができるようになりました。橋が完成し、ボートは廃止されました。

サンボウミヤス小学校は当時古木造の校舎だけでしたが、角田

さんが新校舎を寄贈された後の20年間で次々校舎が建てられ、敷地内には中学校や幼稚園も併設され、生徒数も500人を超える大きな学校群に成長しました。まさに「一粒の麦」です。

この他、支援の光が届きにくい、辺境の村の小学校に手押しポンプ式井戸を4基寄贈しました。こうした地方は水道がなく、雨水を貯めたり池の水を運んだりしている現実がまだ存在しています。引き続き、皆さんの温かいご支援をよろしく願います。

「サンボウミヤス小学校」で生徒たちに学用品セットをプレゼントした角田さん



NPO法人 21世紀のカンボジアを支援する会
理事長 根岸恒次

「味の素グループ労働組合」が 辺境の村に小学校の校舎を寄贈



「味の素グループ労働組合」(本部=東京都中央区京橋)が資金協力した小学校の新校舎が完成、2月8日に贈呈式を行った。

新校舎は3教室の平屋建て。すぐに授業ができるよう、予算内で机(椅子付き)や黒板などの備品も備えられた。

完成したのは「メル小学校」(クラチェ州スヌオル郡・生徒数=389人)、プノンペンから車で5時間以上かかる辺境の村にある。

「味の素グループ労働組合」(20名)の皆さんは前日プノンペン国際空港に到着、8日の贈呈式に臨んだ。地元の関連企業である「カンボジア味の素」からも4名が出席した。

贈呈式には同グループの他、メインゲストにカンボジア上院副議長のトゥン・ヴァタナ氏を迎え、地元から教育関係者、村人、生徒ら約500人が出席した。本会からは根岸理事長以下6名が出席した。

式典では、トゥン・ヴァタナ氏、「味の素グループ労働組合」の乙黒執行委員長、「カンボジア味の素」の山本社長、根岸理事長らがお祝いの挨拶を述べた。「味の素グループ労働組合」と本会に、上院副議長から感謝状とメダルが授与された。

生徒たちには、同グループから学用品セット、「カンボジア味の素」から自社製品を生徒全員に配布した。その後しばしの間、同グループの皆さんと生徒たちは楽しい交流の時を持った。

併せて、本会の会員である根谷崎さん(神奈川県在住)が資金協力し、完成したトイレ棟の贈呈式も行った。

夜には、同グループが主催してプノンペン市内の中華レストランで懇親会が催され、本会会員らも招待を受け出席した。

同グループの皆さんは翌日、プノンペン市内観光の後空路で「シムリアップ」に移動、アンコールワット観光を楽しんだ。



完成した新校舎



挨拶する乙黒執行委員長



完成した新校舎前で生徒たちと記念撮影



根谷崎さん寄贈のトイレ

「カンボジアフェスティバル2025」に出店します

恒例になりました「カンボジアフェスティバル2025」が5月3日(土)と4日(日)の2日間、東京都内の「代々木公園イベント広場」で催されます。本会も出店しますので、お出かけください。また、売り子ボランティアを募集中です。お手伝いできる方は事務局へご一報願います。開催時間は両日共に10時~17時になります。

カンボジアの子どもたちをサポートしてください

クメール教育里親会員募集

長かった内戦が終わって平和になったカンボジアですが、国の復興はなかなか進まず、多くの人々は貧困に苦しんでいます。特に農村では、貧しかったり親を亡くしたりして学校へすら行けない子どもや、学校へ行けても途中でやめてしまう子どもが後を断ちません。

本会では、農村の子どもたちが学校へ行けるようにと、教育資金をサポートしてくれる里親さんを募集しております。

思えば80年前、敗戦して焦土となった日本を救ってくれたのは、諸外国からの援助でした。カンボジアも食料援助をしてくださいました。日本の子どもたちもその恩恵を受け学校に行けるようになりました。豊かになった私たちが、今度は困っているアジアの子どもたちを支援する番です。

※お友達グループや職場など、グループ単位でサポートしていただくこともできます。

【教育里親会費】 子ども1人につき 年間3万円。(活動のための諸費用含む)

- ・子どもへの直接支援額を高めるよう努力しております。
- ・一括納入、分割納入(毎月、年2回)のどちらも可。
- ・所定の郵便振替用紙を使いお振込みください。

【支援する期間】 ・少なくとも子どもが学校を卒業するまでの間、支援して頂けたら幸いです。やむを得ず子どもが中退する場合もありますが、その際は別な子どもの支援をお願い申し上げます。

【子どもとの交流】 ・子どもからは概ね6ヶ月に1度、近況を報告する手紙(日本語に翻訳)と写真が届きます。
・里親から手紙、プレゼントを届けることができます。(子どもから写真とお礼の手紙が届きます)



里親さんありがとう



愛知県板金工業組合 青年部の皆さんが里子訪問

12月10日、小学校校舎の贈呈式に出席するためカンボジアを訪問した「愛知県板金工業組合青年部」(本部=名古屋市・団体会員)に所属する一部組合員の皆さんが教育里親会員になってくださり、この機会に2人の里親さんが教育支援する子どもの家を訪問し面会した。

プレゼントを届けたり近況をうかがうなど、楽しい交流のひとときを持った。本会の現地スタッフが案内した。



里子訪問しました

日本から板金建築資材を持ち込み 校舎が完成

「愛知県板金工業組合青年部」(本部=名古屋市・団体会員)の皆さんは数年前から、自らの板金技術を活かし、カンボジアに小学校の校舎を建設するプランを抱いていた。

この夢はコロナ禍で頓挫しかけたが、コロナ禍が過ぎカンボジア渡航が解禁になったため、昨年より校舎建設がスタートした。6月には日本から屋根の資材を運び、板金職人自らが現地へ赴き、主に屋根工事を完成させた。

その後工事は順調に進み12月11日、日本から組合員が多数出席し現地の小学校で贈呈式が行われた。地元からも約500人の住民や生徒らが参加し、式典を盛り上げた。

本プロジェクトは技術的な課題があったため本会は仲介せず、同会と現地建設会社が直に契約を取り交わし、建設を進める形となった。

新校舎が完成したのは「キロ66小学校」(クラチェ州スヌオル郡・生徒数=120人)、老朽化した小さな木造校舎だけの小学校に、3教室仕立ての素敵な新校舎が誕生した。



新校舎の前で記念撮影

ボランティアで 会報発送のお手伝い



今回も大勢の会員さんが来局、会報発送のお手伝いをしてくださいました。

12月22日(日)、埼玉県桶川市にお住いの3人の会員さんと群馬県太田市にお住いの2人の会員さんがみえ、封入や宛名ラベル貼りなどの作業を手伝っていただき、郵送を済ませることができました。



会報発送のお手伝い

作業終了後、皆さんが持ち寄った昼食を頂き、楽しい懇親会を開きました。

これからも、会員相互の親睦交流を兼ね発送作業を行います。お手伝いできる方はご一報ください。(駐車場はあります)

多くの会員さんがカンボジアを訪問しました



↑生徒の歓迎を受ける角田さん



↑寄贈した井戸を点検する岩浪さん



↑ココナッツジュースを飲む榎川さん(左)、小林さん(中央)、田村さん(右)



↑井戸贈呈式でテープカットする西田さん夫妻

根岸理事長がカンボジア滞在中、今回も多くの会員さんが来訪してくれた。各人がそれぞれ渡航目的を持ち、支援と交流活動に力を注いでくれた。感謝!

- 岩浪千恵さん(東京都在住の会員)
1月22日~26日、里子訪問、学校訪問、その他。
- 角田由美子さん(東京都在住の会員)
1月23日~30日、里子訪問、学校訪問、その他。
- 西田勝司さん、真弓さん夫妻(静岡県在住の会員)
1月31日~2月6日、里子訪問、学校訪問、井戸贈呈式出席、その他。
- 榎川富夫さん、小林好江さん、田村清四郎さん(埼玉県在住の会員)
2月2日~10日、里子訪問、学校訪問、井戸贈呈式出席、小学校校舎贈呈式出席、その他。
- 味の素グループ労働組合さん(本部=東京都中央区・団体会員)
2月7日~11日、小学校校舎贈呈式出席、アンコールワット観光、その他。

四つの小学校に手押しポンプ式井戸を寄贈

▶ 1月31日、根岸理事長と現地スタッフが「クワンジュール小学校」(クラチェ州)を訪問、「カンボジア教育支援西予」(代表=広瀬稔さん・愛媛県在住の会員)が寄贈した井戸贈呈式を行った。

▶ 1月31日、根岸理事長と現地スタッフが「アインジャン小学校」(クラチェ州)を訪問、「国際ソロプチミスト安城」(愛知県安城市の協力団体)が寄贈した井戸贈呈式を行った。

▶ 2月4日、「ミアックカンダル小学校」(クラチェ州)に井戸を寄贈した西田勝司、真弓さん夫妻ご自身が訪問し、贈呈式を行った。歌手でもある真弓さんが日本の歌を披露してくれた。

▶ 2月4日、「トロパントウク小学校」(クラチェ州)に井戸を寄贈した小林好江さんご自身が訪問し、贈呈式を行った。



↑小林さん寄贈の井戸



↑西田さん寄贈の井戸



↑「国際ソロプチミスト安城」寄贈の井戸



↑「カンボジア教育支援西予」寄贈の井戸

里子へのプレゼントは 随時受け付けています

- 国内では円安、現地カンボジアにおきましては物価が高騰しておりますので、やむを得ず里子へのプレゼント代を下記の通りに値上げさせていただきます。どうぞご理解のほど、よろしくお願ひ申し上げます。
- 事務局に届いた里子プレゼントにつきましては、年に1~2回程度になります。空港から持参させていただきます。暫くお時間を頂きますので、なるべく海外送金可能な現金をお送りください。

現地購入品目一覧表

- 自転車(中古品) 9,500円
- お米(50キロ入り) 5,500円
- 通学用カバン 3,500円
- Tシャツ2枚&サンダルセット 2,500円
- お菓子セット(お菓子の詰め合わせ) 1,500円
- 文房具セット(ノート、筆記用具類) 1,500円

※同封の振込票にてご送金を
お願いいたします。



里子への教育支援金を 隔月に届けています

本会のプノンペン事務所では昨年まで、教育里子が通学する小学校(現在25校)を現地スタッフが隔月に訪問、教育里親より頂戴した年会費の中から6回に分け、カンボジア通貨(リエル)に換金して教育支援金を届けている。(今年から年4回に変更)

中学校、高等学校に通う教育里子も卒業した小学校に集まり、支援金を受け取っている。

12月2日~7日の間に10月分と11月分を、2人の現地スタッフ(ドライバー含む)が各小学校を訪問し、教育支援金と教育里親からのプレゼントを届けた。



教育支援金を
届けました

元気な里子たち



写真=右から

- ・ロー・チャントリアちゃん(里親は運見さん)
 - ・ジューム・ソワンチャンセレイポット君(里親さん逝去)
 - ・チャウ・ウサー君(里親は岩崎さん)
 - ・シアン・カニカーちゃん(里親は志田さん)
 - ・パール・パーンちゃん(里親は高杉さん)
 - ・タン・タイヴィット君(里親は鶴さん)
- (アムプレビン小学校)

本会では、病気や事故、親の離婚などにより両親や片親をなくしたり、親がいても貧しい家庭環境にあるカンボジアの子どもたちが安心して学ぶことができるよう、2003年に「クメール教育里親基金」を創設、現在206人(1月末日現在)の子どもたちを教育支援している。本会では、経費削減対策として今年から支援金配布を年6回(4回に變更(3月・6月・9月・12月)、その分教育里子への支援金額を、教育里親年会費の45%に当たる13,500円にアップした。具体的には、3ヶ月に1回の支援金額22・5ドル(現地通貨で9万里エル)(1ドル1150円程度で換算)。

クメール教育里親基金活動レポート

投稿 子供達の笑顔が私の喜びです

梶川 富夫(埼玉県在住 会員)

2月2日~9日、私達3名はカンボジアを訪問しました。

理事長始め、現地スタッフの方々のお陰で楽しい思い出が沢山出来ました。本当にありがとうございました。

私たちは、2年振りにメン・ソナック君と再会、当時は小学5年生。今は中学生、立派に成長していました。子供の成長は早いですね。



日本の四季を説明する梶川さん

それから、今回初めてロット・ナリヤーちゃん、小学4年生と会いました。

同行した小林さんが沢山洋服をプレゼントし、早速可愛いドレスに着替えました。とても可愛かったです。私のプレゼントをした縄跳が気に入り、跳んで見せてくれました。その時の嬉しそうなお顔が、私の脳裏から離れません。

それから、私が以前井戸をプレゼントした小学校を再訪問。全児童が暑い中、両側、正面に並び合掌しながら私達を温かく迎えてくれました。感動し涙が出ました。

私は挨拶時、日本の四季の写真を見せながら説明しました。雪景色、桜、紅葉に皆驚いていました。

そして、姉や近所の方に協力して頂いた児童図書や学用品のプレゼントに大喜び。子供達の笑顔が見られ、本当に良かったです。

又、2年後に子供達に会いに行こうと思っています。

「子供達の笑顔が私の喜びです」

投稿 子供達の輝いた目、笑顔は 一生の思い出になりました

小林 好江(埼玉県在住 会員)



里子訪問しました

雪の降りそうな寒い日に日本を飛び立ち、ホーチミン経由で日本の夏のようなカンボジアに着きました。思っていた様な暑さとは少し違い、朝は涼しくとても気持ちよく過ごすことが出来ました。

以前、観光で訪れてから10年以上過ぎましたが、街並みはだいぶ変わり、とても綺麗なプノンペンでした。

着いた次の日はメコン川ディナークルーズで、夜景を見ながらの食事を楽しみました。

到着3日後からは、「トロパントラク小学校」の井戸贈呈式から始まり、味の素グループ労働組合が寄贈した「メル小学校」の校舍贈呈式まで四校、里子の家、数軒を訪問しました。

各学校までは往復10時間車に乗らなくては着きません。未舗装のガタガタ道、土煙の中は想像以上でした。

しかし、子供たちの輝いた目、笑顔を見るとすっかりそんなことは忘れ、子供達と楽しくふれ合う事が出来ました。

このような貴重な旅は初めてで、私の一生の思い出となりました。

高齢の私は次の約束はできませんが、又機会があれば是非行きたいと思ひます。

投稿 クジラの如く

今 紀子(東京都在住 会員)

ある雑誌に、ザトウクジラが歌う事について書かれてあった。ザトウクジラの歌が記録されたレコードもあるのだとか。

一般に、オスが繁殖期に歌うことが多いので、目的はメスの気を惹くためだろうと想像されているようだ。

同じ地域のクジラは似た歌を歌うらしい。ところが、へそ曲がりはどこにもいるもので、違う地域の歌を歌うクジラも表れて来たという。そして、今では、ほとんどのクジラが新しい曲に興味を持っているという。

原因は解明されていないそうだが、人間だって新しいもの好きはいる。始めは、嫌っていた昭和のおじさんも、ジャズびいきになってハモったりする。そうか、クジラも人間も同じなんだ。

山の仲間と里山を歩いていて、うぐいすの優雅なさえずりが聞こえて来た。しばし、聞きほれていると、熟年離婚した男性が、ポツリと言った。「オスはつらいよなあ」。妙に実感がこもっていた。友よ! 歌え、クジラの如く!

カンボジアに行き始めた頃、何か日本の楽器で演奏したいと思ひ、篠笛を始めた。それは持ち運びが便利だからという単純な理由からだった。難しすぎる。最初はスーともフーとも音が出ない。こちらが音を上げた。

それでも「継続は力なり」の如く、何とか音が出るようになった。

いまは、体調の関係で、行くことは断念したけれど、心の地図は消したくない。

今日もカンボジアを恋いて、笛を吹く。

投稿 シーリングファン

青木 貴之(KHJグループ総務)

カンボジアでよく見かける、天井に付いた扇風機のことです。日本だと、洒落たバーとかにある気がします。これが素晴らしく、部屋全体に風を送ります。



天井扇風機

カンボジアは日差しが強いので、日陰で洗濯物を干さないで紫外線で服が傷みます。部屋の中で、シーリングファンを使って洗濯物を乾かすと恐ろしいほど良く乾きます。30分前に干した洗濯物が完璧に乾くこともあり、「さっき洗濯したのは夢だったのか?」と怪奇現象のように感じてしまうこともあります。

このシーリングファンを使えば汗がすぐに乾くので涼しく感じますが、気が付かないうちに大量の汗をかいていることもありますので、ミネラル補給は重要です。

ご冥福をお祈り申し上げます

会員の計報連絡が続きました。斎藤光正さん(東京都在住)と堀端芳樹さん(京都府在住)が、昨年末にお亡くなりになりました。ご家族から連絡がありました。

お二人とも教育里親会員として、長い間カンボジアの子どもたちを支えてくださいました。心からご冥福をお祈り申し上げます。ありがとうございました。



本会の会員状況をお知らせいたします

(2025年1月末日現在)

●教育里親会員	168名
●個人会員	58名
●団体会員	12団体
●寄付協力者(随時)	49名
合計	287名

書き損じハガキ・未使用切手

・商品券等をお送りくださいませ

本会では、書き損じハガキ・未使用の切手やビール券やデパートの商品券を集め、活動資金にしております。皆様の家に眠っているものがございましたら、ぜひ、ご協力くださいますよう、よろしくお願い致します。普通郵便で事務局へお送りください。



事務局便り

前会報で「お年玉募金」への協力を呼びかけましたが、38名から40万9千円の寄付金が寄せられました。またことさらにがとつございました。今年度から里子に渡る教育支援金額を増額しますので、それに補填させて頂きます。感謝!!

本会では以前実施していたツアーは行いませんが、理事長が現地に滞在中ならいつでも受け入れ可能ですので、里子訪問などで現地を訪れたい方は遠慮なく事務局にご相談ください。渡航について懇切丁寧に説明いたします。

次の会報は、3月〜4月のカンボジア訪問終了後、6月中旬頃に発送する予定です。カンボジア訪問時の新鮮な記事を掲載しますので、楽しみにお待ちください。

活動に参加しませんか

正会員として

教育里親会員(年額3万円) 子どもたちへ直接払う年額 1万3千5百円(45%) 会の運営に回す年額 1万6千5百円(55%)

個人会員(年額5千円) 団体会員(年額1万円)

寄付金

当会の活動に賛同いただける方からの寄付金も受付しております。

会費寄付金の送付は、銀行振込、郵便振替、現金書留で。

口座名

21世紀のカンボジアを支援する会

ゆうちょ銀行

019支店 当座 01600916

りそな銀行

練馬支店 普通 4098235

ゆうちょ銀行の自動引き落としを希望の方は事務局へご連絡ください。

会員の皆様には、隔月発行する本会の会報「アンコールワット」を発行の都度郵送します。

春さんのカンボジアレポート

～カンボジアで初の2階建てバス～

カンボジア初の2階建てバスが走り始めました。アンコール遺跡観光の街・シェムリアップと遺跡を走ります。

ビッグバス・アンコールツーリストの運行で、時間別コースがあり、4:00PM-6:PMはアンコールスモールサーキットを訪れて夕日鑑賞。6:00PM-8:00PMは街を探索し、カラフルなナイトライトを楽しみます。8:00PM-10:00は街の夜のライトを探索。

乗車下車場所はパブストリート、ベンガロ、ガソリンスタンド、アンコール・アイ、シェムリアップ川。料金は1人1日7ドル。子供4ドル。5人分で1人無料。乗り降り自由。

(写真出典:ティアラエアトラベル&ツアー)

理事・会員

鈴木春男(カンボジア・シェムリアップ在住)



二階建てバス

トウン・ヴァタナ上院 副議長を表敬訪問

1月22日、根岸理事長がカンボジア議会上院(日本の参議院に当たる)を訪れ、トウン・ヴァタナ副議長を表敬訪問した。(議長はフンセン前首相) 2月8日に行われる「メル小学校」贈呈式に主賓としてお招きする関係で、事前にご挨拶させて頂いた。

副議長は2003年、本会初の小学校校舎贈呈式に主賓としてお招きしたサイ・チョム閣下のご子息で、これからのカンボジア王国を背負う逸材。この機会に、本会の後ろ盾として応援して下さることを約束して頂いた。



上院副議長を訪問

匿名でカンボジアの小学校に児童図書を寄贈

根岸理事長の古い友人から、匿名でカンボジアの小学校に児童図書の寄贈依頼を受け、滞在中4つの小学校を訪れ、図書室に寄贈した。寄贈者の意向で政治色の高い本を避け、教育要素の高い民話など中心に各小学校に50冊ずつお届けした。



児童図書を寄贈

日本から持参した会員さんからの寄贈品を配布

根岸理事長がカンボジアに滞在中、会員さんが事務局に送ってくれた衣料品やぬいぐるみなどを、貧しい村に住む子どもたちに届けた。子どもたちは、思わぬ贈り物に喜んでいました。送ってくれた加藤さん、山本さん、浅利さん、ありがとございました。



村の子どもたちにも届けました

小学校の校舎建設順調に進む

2月10日、小学校の校舎(3教室)を建設中の「ジーバオ小学校」(コンボンチャム州スレイソントー郡・生徒数1235人)を根岸理事長が訪問、建設状況を視察した。

校舎は屋根の敷設工事を行っていて、3月26日の贈呈式前に完成する見込み。生徒たちも完成を待ちわびている。

この校舎は、本会と連携してカンボジアで小学校の校舎を寄贈している「世界の恵まれない地域に小学校を作る会」(新潟市秋葉区・石川幸夫代表)が建設資金を提供している。加えて石川桂さん(愛知県在住の協力者)が、建設資金の一部を負担している。



完成を待つ子どもたち

懐かしき1枚

2006年頃、「サンボウミヤス小学校」(プレイベン州)を訪問する角田勲さん(故人)、由美子さん夫妻を始めとする会員の皆さん。ボートの船着き場から小学校まで、牛車で揺られて行きました。二度と経験できないレトロな旅でした。



懐かしい牛車

写真提供:遠藤 啓会員

教育里親会員 入会申込書

年 月 日

氏名	ふりがな	生年月日	年 月 日
住所	(TEL)		
備考	1. サポートして下さる子どもの人数 [] 人 2. サポートして下さる子どもの性別 ① 男子 ② 女子 ③ どちらでも 3. その他 [具体的に]		

*入会して下さる方は所定の事項をご記入のうえ、本会事務局までお送りください。